京城日報
(刊休無中年)
本紙定價 一ヶ月金八十錢 郵税共
廣告料 五號活字一行一圓五十錢
發行兼編輯人 小田 直吉
印刷人 小川 三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番 振替京城三〇〇番

一條約實施遲延

巴里發外務省着電＝條約實施は獨逸との協定決の爲め尚ほ遲延し居れり(東京特電)

獨艦處分と四國

獨艦處分に關する最高會議の決定は英佛伊日四大國は戰時中各國喪失軍艦の數を基準とし分配し且つ是を爆沈せしむること、し佛國は未だ決せず(倫敦電報)

羅馬駐支總監督
使節は佛國人を任命

羅馬法王は廣東駐在總監督デグブリアン氏を支那駐剳總監督に任命したるが氏は支那と法王廳間の外交問題に關係せず專ら支那に於ける教徒の宗教問題のみを裁決すべしと尚法王廳よりは近く支那に使節を駐在せしむること、ならん而して佛國政府は右の使節が佛國人に任命するとを條件として此の事を否認せず法王廳も佛國の條件に同意せり(羅馬電報)

煙酒借款と違法

一時中止說を傳へられたる煙酒借款は既報の如く十一月三十日假正式調印を終りたる旨米國より支那政府に來電ありたり內容は既に傳へられたる如く其額三千萬圓を交附し本年內に更に五百萬圓を交附する條件として擔保辦法に依るものなるが印と同時に五百萬圓にして調印國會側は該借款を國會の同意を經ずして調印せるは違法なりとて質問を發すべし(北京電報)

支那軍艦福州急航

上海に在りし支那軍艦は海軍部の命令に依り一日上海發福州に急航したるが同地着の上は馬尾に碇泊し治安維持に任ずべしと(上海電報)

過激派入込む
不穩計畫發覺＝退去命令

過激派の領袖と目さる、者高飛措置に上陸し我國に過激主義の宣傳を爲さんとしつ、あり又横濱に在る露國コタポフ少將は同地在住猶太人富豪より資金を得て不穩の計畫の爲し居る事判明し憲兵隊司令官は之等に對し退去命令を發せり(東京特電)

極力警戒中

東京及び横濱に入り込める露國過激派は近來行動頗る注目すべきものあり警視廳並に東京憲兵隊にては神奈川縣警察部と連絡を執り極力警戒中なるが五日に至り神奈川縣警察部にては別記の如くコタポフ及びハンタレーフなる二名の露國人に對し退去命令を發したるが尚は數名に退去を命ずべき模樣なり(東京電報)

西貢米 日本割當高
二十萬噸＝輸出時期問合中

久しく輸出禁止中なりし西貢米は今回解禁となりたるが六日神戸米商店に達したる電報に依れば日本は二十萬噸割當てらるべしと尤も其の輸出時期は不明なるを以て同商店にては直ちに打電し輸出時期及び契約値段等に就き照會中なるが來春積新米は神戸着百斤二十圓見當なりと傳へらる(神戸電報)

御認可狀發送

京城駐在米國總領事に對し京城駐在米國總領事ランス、フオルド、エス、ミラー氏の
…行に對し去月二十八日御認可を發せられし旨發表ありた(特電)

學年開始期改正問題調査

教育界多年の懸案たる大學及び高等學校學年開始期改正問題に就ては嚢に臨時教育會議に於て審議改革案を議するに當り附帶條件として內閣總理大臣に答申したるも依然實行せられず而して關係者間には文部省當局の責任を云々するものあるに至りたるを以て文部省にては遂に是が調査に着手し愈々大正十年度より實行するとに內定せり但し大學のみは都合に依り更に一年延期せらる、やも測り難し(東京特電)

外米賣出發表

農商務省は八日より二十七日より二日間東京大阪門司神戸にて外米賣出を爲す旨發表せり(東京特電)

滿鐵理事更迭說

滿鐵理事は今回辭職し高田商會に入ることに內定し川村久保兩理事の辭職も遠からず實現さるべしと傳へらる後任には財界を代表する一二の者に內定し居れりと(大連特電)

園元殖氏歸鮮

新日本主義宣傳の爲め東上中なりし協成俱樂部長園元殖氏は七日朝釜山上陸十時急行列車にて北行せり(釜山特電)

渡瀬牧師等通過

呂運亨一行に加はり居りたる渡瀬牧師、張德秀、柳一宣の三名は七日朝釜山上陸十時急行にて北行せり(釜山特電)

旱害の朝鮮貿易に及ぼせる影響(上)
旱害と穀菽及貨物集散狀況
總督府關稅課長 林繁藏氏談

旱害の實況 本年の稻作は南鮮地方概して豐作を告げたりと雖も中部以北に於ては七月中旬以降八月下旬に至る迄殆んど一滴の降雨すら見る能はざりし地方あり數十年來稀有の旱害を被りたるを以て全鮮を通觀するも尚左の如く穀類の減收を免れざる狀況なり

種類	大正八年豫想	大正七年實收概數	減收高
米	一三、六六六、四一二石	一五、二九四、一〇九石	一、六二七、六九七(一割強)
大豆	三、四〇三、八五五	四、八八〇、三三二	一、四七六、四七七(三割弱)
粟	三、九五四、九五〇	五、六六五、六六六	一、七一〇、七一六(三割強)

穀菽出廻狀況 旱魃以上の如く旱魃以降の出廻りは前年に比し却て增進を示し殊に七、八、九の三箇月に亘りては米穀出廻りの實況前述の如しされど七、八、九の三箇月に亘りては米穀出廻の影響は數字上未だ之を認め難き狀態未だ著しき反響を呈せざるのみならず前年に比し却つて增進の勢ひを示せり即ち仁川、釜山、鎭南浦、群山及京城に於ける本年七月以降九月に至る三箇月の米の廻着高は四十三萬一千石にして前年同期に比し四萬五千石即ち約一割強を增加し大豆は八萬一千石にして約四萬石即ち十割を增加せり

前年との對比 而も旱害の激甚なりし仁川鎭南浦のみに就て之を見るも同樣の現象を呈し又月別に之を觀察するも季節的に漸減の傾向は之を認むと雖も前年との對比に於ては必ずしも不振を醸せりと謂ふ能はず右の概況を表示すれば次の如し

主要市場米出廻高(自七月至九月)

港別	大正八年	大正七年	增減(△)
仁川	八一、七〇〇	一五四、五五三	七二、八五三
鎭南浦	三三、三五九	二六、三三九	七、〇二〇
群山	一〇七、七七七	一〇六、四八五	一、二九二
京城	四四、三九九	三六、三九九	八、〇〇〇
釜山	三六、三五七	三三、四四〇	△五三、三〇三
京義線	一四九、六六六	一二三、三三五	二六、三三一
京釜線			
計	四三一、六六六	三八六、五三二	四五、一三四

新物出廻り薄 然るに新物は例年出廻期たる十月央に至るも廻著極めて寥々たるものにして氣候遲れ並に舊曆閏月の關係に依る農事の遲延等之れが主因たるが如しと雖も前途食糧の不足及び之に伴なふ穀價の變動等要するに旱害に基づく一般の懸念若くは思惑心等種々錯綜せる事情の潜在も亦否定すべからず

貨物散布狀況 中部以北旱害甚だしきを傳ふるや米價高の爲めさなきだに入貨を示せる滿洲粟の輸入は當局の勸誘等に因り一層旺盛を極め之が需給も相當好況を呈せるが如く…

南鮮近狀
西村殖産局長談

山の三都市を視察して來たが…一週日の日程で釜山、大邱、馬山の三都市を視察して來たが…

近年の發展 は數字的に調査して見るに眞に驚くべきものがある、就中大邱の發達は最も急速であつて先づ內地人の戶口は明治四十一年に戶數千戶なりし者本年は三千五百戶となり人口千五百なりし者今は一萬二千人となり實に三十五割の增加なり一方朝鮮人は戶數四千二百戶が六千七百戶に人口一萬七千人が二萬八千人となり約六割の增加にして此分にて進めば十年後には內鮮人同數となる道理なり又經濟上より見るに昨年の頃…

非常の增加 を示し居れり同地にては生絲一萬三百所…雞林農產會社及び織物會社等を設立して事業を進め居れり釜山の繁榮も近時內地經濟狀態の良好なるに伴れ同市に移轉營業するもの激增し本年に入りて既に百戶以上に達せりとの事なり馬山も亦好況にて數年前には空家多く淋しき模樣なりしも今や一軒の空家なきのみならず埠頭には米穀海産物の滯貨しく堆積され一面移入貨物は織物其他…に貸出は百二十三萬圓が一千二百六十萬圓となり爲替送金は五百萬圓が千九百萬圓に同取立は百五十萬圓が三千三百萬圓となり

內鮮人間の

經濟關係の密接を加へ殊に鮮人は財力頗に增加せるも尚ほ事業上の經驗に乏しく又資本の融通に就きても內地人の銀行等に依頼するの止むを得ざる者あり何事も內地人の力に依り親密を期するの利益なるを諒解し居る者の如く又一面世論に耳を借し又は運動する者の如きは概ね無資產の浮浪者に過ぎず、苟くも實力を備へ資產に志しある良民には概して前述の趨勢を馴致し居れるは甚だ喜ぶべき現象にして內鮮人の同化と謂ふも必ずしも其の根本を此經濟的基礎の上に置かざるべからざるを深く感ぜし次第なり

約十五萬圓

の建築を…し居りて地方鮮人の財力豐富なるを語る者あり又昨年は第一回全鮮商業會議所聯合會を開催し其の結果全鮮商業會議所書記長會議及鮮滿商業會議所聯合會等を生じその意志も充分に疏通し益々親交を重ぬるに至つた之等の功績は全く原田前會頭の熱心なる努力の賜物であるが今度は朝鮮經濟界の巨頭たる美濃部氏を會頭に戴くことなりたるは獨り京城商業會議所の爲めのみでない全鮮經濟界及び親交の爲め將た又滿鮮相互經濟界の爲め眞に慶賀に堪へざる次第である商業會議所の事業に就ては目下各方面の調査中であるが…

調査事項 に忙殺されて居る然し之等は內部に於ける仕事で外部に對する仕事でない今後は外部に對する仕事を行つて見たい(一)先づ九年度の事業としては公會堂落成の曉に於て京城府又は京畿道の產業共進會を開催すること(二)總督府鐵道局は京城仁川間貨物の輸送能率が不足の爲に生ずる滯貨の掃滅の目的で京仁間の線路を複線とし仁川の京城間に電車を運轉せしめ旅客及び貨物の輸送の圓滑を計りたい此の結果鐵道沿線に…

住宅の建築 を見れば京城の住宅問題解決の一端ともならう(三)目下各商店の店員公休日が區々であるが之が制定の方法及び店員公休日有効利用法等に就き各組合の意見を聽き之を決定したい。以上の事業は美濃部會頭の指揮に依て之が實現を期待する

漢城圖書創立

漢城圖書株式會社資本金三十萬圓の設立の件は四日附許可の指令ありたるが同社は本店を京城府に置き圖書の出版及び販賣其の他の業務を營むものなりと

火藥取締講習會

京畿道保安課にては來る十日より向ふ一週間各道第三部銃砲火藥取扱主任火藥貯藏所々在地の警察官火藥商取扱主任等を召集し永樂町研究室に於て規則の說明火藥の概略貯藏取扱及び運搬火藥庫の建設等に就き講習會を開催す可しと

朝鮮補助貨缺乏
其救濟策如何(下)

朝鮮現下の狀態は未だ幼稚なる取引の範圍を脫却せざるを以て內地に比し補助貨の需要一層大なるのみならず各地方に於ける鐵道の敷設道路港灣改修その他

特殊の事情 により補助貨の需要を增加する事情あるを以て今日に於て適當の助貨の需要を增加する事情の急務なる所以なりと信ず然らば朝鮮に於ける補助貨の流通額を增加しその缺乏を緩和するに當り如何なる種類の補助貨を鑄造すべきや…

妥當なる事 と信ぜらるの補助貨に就ては理論上の…

所要額 一千七百八十八萬圓にして七三六十餘萬圓の差引所要補充額を要し又補助貨の流通歩合を十三パーセントとする時は…

京城正米氣配

正米は其後期米の保合に追隨して氣迷ひの域を脫せざるも今尚ほ去る四日に於ける期米の下落は米價大勢の前途を悲觀せしむる所以たる…

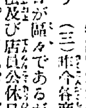
朝鮮捕鯨好績

朝鮮沿岸に於ける本年度捕鯨成績は天候潮流共に順調なりし爲め昨年度に比し約三割方の增加を見たるが中にも東洋捕鯨會社の如きは十月八十九頭十一月百三頭を得たりと尚は同會社にては今回更に蔚山鎭海方面に捕鯨場を新設し…

新事業
京商計畫 釘本副會頭談

回顧すれば設立當時の京城商業會議所は時代の然らしめた結果か其の存在を認められる點も極めて少く賦課金收入の如きも其の成績は…京城商業會議所を一層活動的のものとなす目的で前會頭原田金之祐氏を會頭に推し次いで新議所の組織が出來て…

其の日その日



◇ゴルチヤック提督の人、唯好漢惜しむべくは政治の何物たるを解せず、今回のオムスク政府沒落の如きも同提督が西伯利人多數の意向を無視して大露國の復興を夢みたるに由る、されど西伯利の將來を考へなば同政府の敗退は或は却つて今後幸ひを爲す所以たるやも測られず
◇勞働會議に於て八時間制採用か一週一回の休業日かに就きこの問題は勞働者に取りては…
◇條約實施の延期は何としたものか獨逸の委員は逃げ出したさうだ…

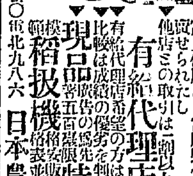
懸賞川柳
劍花坊先生選

大馬鹿 ……
大馬鹿がグラ〳〵笑ふ通夜の晩
村一の大馬鹿が巡査に成り
萬歲を何夜大馬鹿腹が減り

本號八頁
明朝休刊

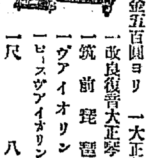
人事消息

歲暮御贈答用品大賣出し
景品附
十二月一日ヨリ三十一日マデ
各種時計
貴金屬製品
電話一八七四
振替六六九五
野田商店
京城本町二丁目(京城銀行筋向イ)



製繩機
永久確實に利益を收得せんとする方は信用ある當所製作の機械を取引販賣せられたし
有給代理店募集
現品特價提供
稻扱機
大阪市外中津町 日本農機製作所

看板はフジノ工舍
サツポロビール專屬
電話七三二番



歲末贈答賣出し
一改良復音大正琴
一筑前琵琶
一ヴアイオリン
一尺八
一明笛
京城本町二丁目二十九番地
釘本樂器部

古本と古樂器買入

新古洋服外套大勉强
質良流品
スポンコール地
米山萬次郎商店

京日案內
讓電話
看護婦及見習
證券担保金融
大島紬着荷 秋葉
校正係募集
大海堂印刷所
少年配達募集 町田新聞部
外交集金人
生徒募集
有隣生命
通勤女店員入用
增井質店
木炭御販賣

新年の繪はがき

兒玉伯に 一大權威

將校に斯界の一大權威なりとの事なれば飛行機米著の上は同地に於ても其妙技を發揮すべしと云へり

櫻圃會 寺伯追慕の 緣故深き諸名士の發起

故寺内元帥を追慕し永久之れを記念すべく今回山縣前政務總監、有松英義氏、宇佐川中將、石塚東拓總裁其他發起となり故元帥の雅號に因み櫻圃會なるものを組織し毎年故元帥の命日に芝増上寺に於て追悼會を開くことゝせるが尚其他にも種々の計畫あり目下會員を各方面に亘りて募集中なりと（東京特電）

榮轉と云へば榮轉でせう 神田純一氏 頑父ちやんの

總督府事務官から長崎縣理事官に榮轉した神田純一氏は十餘日の病蓐から今日起きたばかりと云ふ窶れた顔色にも似合はず歯切れの可い調子で語る『頑父と云ちや老人だが僕は之れでも未だ若いんだヨ大正元年の帝大出だから少壯組の積りだが朝鮮に永く居ると頭が古いと貶されるから堪まらん然しそうは云ふもの、刺戟の少い朝鮮に永續すると或は多少神經が遲鈍になるかも知れませんね』と徹底した如な爲ぬ如な輕い諧謔を弄する邊は何處か

兒玉伯に 惡い心地 はしませう

勞働して居る『ナニ榮轉だつて？榮轉かも知れませんね、此形は朝鮮の寒い冬を後に見て氣候の好い長崎へ遣つて貰へるだけでも大いに感謝して居ますよ、夫れに僕の郷里は山口縣だから任地が近くなつたので親戚故舊は大喜びです、自分も久し振で内地に歸れると思へば満更惡い心地はしませんりませう』が、去るとなれば朝鮮に残り惜しい氣分がする、學校を卒ると直ぐ當地へ赴任して來て満七年初めて社會へ出た出發點だと思へば第二の故郷以上の感なきにしもあらずで其當時とは變遷して面影を變へた京城の地が莫迦に懐しい氣がする…出發は未だ何とも豫定しないが又諸君の御厄介になる時があ[illegible]

大島沖で爆沈 來春皇族方の台臨を仰ぎて 分捕り潜水艦の處分 各國武官も立會つて火藥裝填

日本が獨逸より沒收したる潜水艦七隻の内第一號第五號第七號は目下横須賀に在り其他は呉に在りて夫れ〲分解試驗中なるが右は列國の間に

本年中に 爆沈すべき内約あるものなれば列國亦沒收せる潜水艦を十月中に爆沈すべき筈なるに未だ爆沈せず各國共目下見合の體なるが右につき横須賀鎭守府某武官は語る『沒收した潜水艦を爆沈することは當初の内約であつたが伊太利や佛國の反對あり未だ決定しないであらう』が目下巴里に開會中の

最高會議 で決定し豫定通り爆沈することゝなるだらうが若しさう決定したら日本は何處で爆沈するか太平洋の眞中で爆沈するといふ說もあつたが潜艦位を爆沈するに何も太平洋の眞中まで出掛ける必要はない

櫻咲く頃 伊豆大島附近に於いて皇族方の台臨を仰ぎ各國武官立會の下に潜水艦に火藥を裝置して爆沈することにならう

爆藥自殺 散財の揚句 哀れ四十男 大邱遊廓の慘劇

五日午後二時頃大邱八重垣町遊廓松鶴抱へ娼妓藝名丸〇の部屋にてダイナマイト二個を使用し自殺を圖りたる遊客あり、爆音に驚き人々現場に駈附けたるに

臓腑は 露出し血潮肉塊は四邊に散亂し室内の器具戸障子は勿論附近の硝子等悉く破壊し其慘狀目も當てられず爆聲を聞めたるが此者は四日午前十一時頃登樓し娼妓丸〇を對手に散財を始め一人にては淋しとて電話にて友人を招き同夜十二時過ぎ迄に三十二圓餘の遊興をなしたるも

所持金 なく金策の爲め友人を外出させ一人居殘りを爲したるも消息なきより松鶴に於ても不審を起し一旦部屋に下げ注意中午後二時頃手紙を書く故暫時二階の部屋を貸し呉れよと以前の部屋に入り襖を閉ぢ切り手紙を書く樣子なりしが間もなく

大音響 を發し前記の始末に及びたるより直に其旨警察署に急報し臨檢の結果自殺者は八郎府東城町二丁目在住小島吉郎（〇〇）なる事を知り得て慈惠病院に入院せしめたるも生命覺束なかる可しと原因及爆藥の出所等は目下取調中（大邱）

干支に因んだもの 相場は

歡く發行されるが、新年物は如何にしても干支に因んだものや動物に形取つた物が多く甚だしく奇拔なのは少いやうである、今年は鼠に因んだのや動物田家の旱擬を圖案にしたものが大部を占めてるやうで、繪葉書商日出商行で訊くと今年は未だ到着した新物は十種に過ぎず

相場は 並物で一枚壹錢から五錢其上が六七錢上物は十錢以上だが文字だけの年賀狀は一枚一錢乃至三錢位との事で文字の種類は例年通り商家用勤め人向婦人用等が重なる物である總別値段は昨年より幾分

強含み だが賣行は極上で品荷の到着を待ちかねる程の上景氣、愈々押詰つたら尚一層の景氣が出る事と想像される。

馬賊大連に入込む 格鬪した事員傷を負ふ 終に七名逮捕さる

一月末奥地より大連に馬賊潜入したる模樣ありとて警務課にて警戒を嚴重にし居りしが二日小崗子方面捜査中の武田刑事巡捕は賊徒三名と出會し格鬪の末一名を捕へたるも頭部を短銃にて射撃され重傷を負ひたり同夜十時頃信濃町方面にも三名の賊現はれ巡捕に向ひたる警官に亂射抵抗し一名逮捕され五日午前八時頃寺兒溝方面に數名の賊現はれ巡捕に向ひたる警官に短銃を以て數分間抵抗せしが終に四名逮捕され他は逃走せり此格鬪にて陳巡捕は腹部に重傷を蒙り生命危篤なり（大連特電）

學生乘車賃 休暇中は五割引

鐵道にては冬期夏期に對する乘車割引規程を定め朝鮮に於ては京城專修學校外四十九の官公立學校私立東洋協會京城專門學校外十八の私立學校及び小學校普通學校私立指定學校等の學生に對し之を適用する事となれるが割引率は五割期間は春期は三月二十五日より四月二十日迄夏期は六月二十五日より九月十五日冬期は十二月二十日より翌年一月十五日迄なりと

三千圓窃取

去月三十日夜咸南三水郵便局に忍び入り[illegible]郵便局より三千圓を窃取逃亡せる曲者あり犯人嚴探中のところこの程仲坪警察署に有力なる嫌疑者一名を檢擧し目下嚴重に取調中

今度は鼠疫 大連の警戒

大連港にては神戸にペスト發生せるに就き港灣汽船の繫留寄港の取締を行ひ古物類の輸入は神戸官廳の消毒證明なきものは絶對に揚陸を許さざることゝなれり（大連特電）

李堈公は御隱居か 宮内省に於て協議中 聖上畏くも御軫念

李堈公殿下の件に關しては過般上京せる國分李王職次官より波[illegible]拜承する次第なるが這は全く畏き邊の御裁斷に俟つ可きものにして宮内省にては重大にして其の善後策即ち殿下の御進退に關しては目下宮内省と李王職の間に種々協議中なるも殿下には結局御隱居あらせらるゝこととなるべしと洩れ承はる（東京電報）

歲末の郵便局 從業員は泣される 今年も亦澤山の臨時雇 郵便物は早目に出せ

去年は『オレチコロスツモリカ』と云ふ電報を打つた商人がある

一年中の總勘定をする歲末が來ると各商店銀行會社の往復文書は山と積まれ電報や小包も非常に多くなるので郵便局は何時も泣かされる服部京城郵便局長は『例年通り郵便事務は逐日劇増しつゝあります、相變らずの

手不足で すから今年も臨時雇を採用して事務の進捗を期する筈です、學生などで冬期休業を利用して臨時雇員として働けば約二十圓位の收入がありますから學生の小遣ひ取には適當でしやう、年賀郵便は十五日から受付ける筈ですが年賀郵便でも贈答品でも成る可く

早く差出 して欲しい、押し詰まつてからでは手が廻りかねて困る、内地行きの小包などは特に早目に差出して置かぬと郵便事務多忙の爲め年内に屆かぬ事があります、毎度云ふ事だが小包の包裝は完全にせぬと互の迷惑であるから此れも注意が大切です

暮は毎年 二十五六日頃に總てのものが殺到して來ますが三十日になると大分減るものです是は餘談ですが昨年は三十日の勘定の催促に『オレチコロスツモリカ』と云ふ電報を打つた商人がある、迄さいよ〲總勘定となると自家の浮沈にも關する場合があるので泣いて此と云ふ悲劇も多々あります』

轡を並べて 仁川へ遠乘

京城乘馬俱樂部では秋の大競馬會を虎疫の爲め滅茶〲にされた上會員にも故障があつたので何の催しも出來なかつたが京城乘馬俱樂部では七日の好晴を幸ひ仁川へ遠乘を試みた午前六時過ぎ喇叭の霜を踏んで俱樂部に集まつた面々は飯泉銀行秘書役長、吉田同營業局長、瀨戸、二宮、久保の三學士其他十餘名で午前八時轡を並べて俱樂部を出發し蹄輕く麻浦永登浦を經て正午頃仁川に到着直ちに馬を捨て同地『銀水』に於ける齋藤友吉氏の歡迎宴に列したが一行は薄暮汽車で歸る由

沖の島燈臺燒失す

玄海灘航路の唯一の目標物たる沖の島燈臺は二日突然發火全部燒失したるを以て航路標識管理所技師兒玉服藏氏は横須賀より下關へ來り直ちに沖の島に向へり

宙返りの和田中尉が朝鮮の空に妙技を揮ふ 陸軍航空隊の大飛行 參加飛行機は十臺 準備の爲め櫻井少佐來鮮せん

朝鮮空中の壯擧にかゝる朝鮮訪問飛行は陸軍省にて既に確定せるも未だ公表せざる所にて目下所澤飛行機製作所に於ては右大飛行に使用すべき機の製作

完成を急 ぎつゝあり右に使用する飛機は航空隊の計畫に依れば都合十臺にして朝鮮各地に於て恐く着陸し[illegible]朝鮮各地の來着を待ち日、伊交々飛機を並べて日本に向ふ事となるべく無着陸飛行と云ふも實は伊飛機の

迅速飛行 と云ふが妥當なるべし伊國飛行機は既に五日羅馬を出發したるやに傳ふるも所に依れば未だ出發せざる方信ずるに近かるべく既に出發したりとせば何等か確報あり得べき筈なりと云へし伊國飛行機は釜山の

要塞地帶 を避け大邱より一氣に大阪に向け飛行すべきも我陸軍飛行機は京城より釜山に飛び釜山より廣島まで無着陸飛行を試むべく是が爲め下關釜山間の海上には驅逐艦十數隻を

參加飛行機中一臺を朝鮮に派遣の事に任ずべしとて又陸軍省より朝鮮に派遣の準備委員長は航空部員

櫻井少佐 に確定し大邱には飛行將校砲兵中尉和田昌雄氏出張一切の事務を執るべし和田中尉は下志津の大演習觀兵式後大阪城頭練兵場上空に於いて六回も宙返りを行ひ其の輕快なる飛行振りを見せたる年少氣鋭の

飯沼氏世界一周飛行に參加す 既に申込を終り盛に練習中 佐藤水田兩氏を始め例の金景圭君も出馬せん

世界一周飛行に就き帝國飛行協會の飯沼氏は五日同飛行參加の練習を爲したり飯沼氏の飛機は米國協會が斡旋の結果在米日本人が寄附し來れる三萬圓を以て群馬縣太田町中島飛行機製作場に註文せる中島スタンアランド二百五十馬力『米同胞號』にて同機は遲くも年末迄に竣成の豫定にて目下製作を急ぎつゝあり飯沼氏は目下尾島町中島飛行場にて參加飛行準備の爲め盛なる練習を爲しつゝあり又中島飛行場の佐藤水田兩氏も竊に東京大阪郵便飛行に成功せる百馬力のものを以て參加する筈なるが尚ほ同飛行場の練習中朝鮮人金景圭外五名も來春三月迄には百五十馬力の高速機を操縦し參加の豫定なり而して參加の勇士は總て五十馬力にて參加する意氣なりと（東京特電）

誤れる勞働[illegible]

[illegible]

禪堂生活（三） 人間の改造

庭詰（二）

急ぎ足に道を登つて寺門に一歩を踏み入れたが今日から一層の臨むのかと思へば一種の戰慄が湧いて來る。門頭に立つて今更ながら四邊泉淡島を一眸に集めた絕景に恍惚として居ると（晩の誦經）支度の鐘が鳴る喚鐘して小走りに庫裏の玄關に飛び込む

竹の皮の鼻緒 のすげた五六錢の桑下駄が五六足整然と並んで居る。傍を見ると『照顧脚下』の四大文字が古色蒼然と書いて居る『照顧脚下』に就て授業寺の師匠から屢耳を聽けだこともあつたが此の時程切に感じたことはなかつた。世間の人の多くは自己の脚底下を忘却して唯だ他人の方にばかり著眼して居るから

馬の糞も踏 めば落し穴にもはまる。誘惑と云ふ盗賊に這入れば迷ひと云ふ空巢に家も喰ひにもるのだ、『照顧脚下』誠に是れ自己反省の金言ではあるまいか。掛塔を願ふには最も時刻が遲かつた。それで單に投宿を願ふことにして鐘路の横の

六疊の間に 通された そして茶禮投宿帳記名と法の如く濟まして佗しき眠りに就いたもの、明日の庭詰を思ふと首尾能く此の試驗に合格するであらうか、意地惡く取扱ふのことなればどんな目に逢ふであらうかと次から次へと

走る妄想 に、輾轉の苦しさ、眼は冴つてきうしても眠られない。思ひを故郷の空に走せて居るとチリン〲と起床の鈴音に續いて鳴る〲仕度の半鐘、授業寺にあつた時は幾度起されても覺めなかつたのが忽ち吃として飛び起きた。かくて洗面もそこ〲本堂にかけつけて常任席の一隅に小さくなつて

幾十の禪客 と朝課の讀經も終つた。間もなく文鉢が鳴る喚座（朝食の）の仕度だと云ふので禪堂からは幾十の雲水が各自鉢盂（朝食具）を持つて出て來る、予も末座に着座して食事を取つた。一座のものが皆自分に視線を注ぐ、豫て覺悟はして居るもの、何だか

極りが悪く て粥が咽喉を通らぬ。食堂は三默堂の一で漬物を食ふ音も立つることが出來ねば熱いものをすゝることも出來ぬ。直日（禪堂長）は盜み目に見ると鬼のやうな面をして靜かに喫して居る。四五日後には彼の旗下になるかと思へば慄然たらざるを得なかつた。

紳士の失敗

まるで喜劇の樣な事實

名前は態と預かつて置く、近頃實用品のK紳士の茶の室の長火鉢の前で頭を垂れて物思ひに憫ましげに白い顔を眈つて居るS子夫人の手に持つた一通の手紙は女の手跡…女が女文字の手紙を見るに敢て異とする處はないが夫れは良人K紳士に宛てた東京の驅染藝妓からの情緒纏綿たる艷文だつたのでS子夫人たる者

胸の焰 を燃やさざらんとするも能はず、嫉妬の焰は正に蛇となつて紅舌を吐かんとしたが其處は名流の家庭に生れた夫人だけに胸を抑へて案じ出した一計は何事であつたか、其後夫K紳士は東京から從々寄した深樂の藝妓からの消息によると『是非お目に懸かり度い、思慕んで此頃は痩せ細つて了ひました惡うして居ては生命も覺束ないから』

一人旅 の寂しさに堪へずこ[illegible]京城へ[illegible]K紳士は[illegible]

顏色を 横眼で見ながらK紳士は[illegible]心も空に家を出た[illegible]可愛い奴が待ちかねて居るだらうと[illegible]通された一室には形の如き茶[illegible]座布團は向合に二枚敷いてあつたが目的す對手の姿は見ねず、一番ありしく『早く宅へお歸りなさい』[illegible]S子夫人の筆蹟、其後一週間[illegible]も夫婦は口もきかなかつたとか

鵞口瘡流行 流行性鵞口瘡

蹄病牛は其後發生を一時見ざりしが昨年五日平安南道价川郡に一頭發見せる旨同郡警務局に入電ありたるが初發以來の發生狀況を聞くに十二月十四日平北泰川郡に九頭の病牛を初發とし十日泰川郡に十頭雲山郡に八頭寧邊郡に二十頭同十五日平南价川郡に三頭計四十四頭の發生を見たり從來の例に徵すれば寒日猶ほ益々蔓延の兆あり一般の注意を要す[illegible]

演藝案內

大正館 替り七日より ●米國ワーナー社大作 凸々で夫の愛 ●英國アートクラフト社傑作 ●新派劇 出たり這入たり 全五巻

壇國右衛門 全五巻 日活本年十月封切大阪七手組の驍將[illegible] ○毎日一回十五日日曜祭日晝夜開演

浪花館 京城本町 電話二六〇 ●圓頂派橘圓次郎大一座 ▲落語手踊 ▲滑稽手品 ▲笑話 ▲通俗講談 ▲音曲噺 ▲落語扇舞 ▲人情噺 ▲珍品一人角力 橘圓 橘之助 桂梅之助 桂市之助 大森 小圓 技國 林家小正 雷門助六

喜樂館 本町一丁目 電話九七番 當る十二月五日より特選映畫提供 ▲活劇 ▲人情哀話 闇 全五巻 ▲笑話 ▲大切 越後獅子 橘圓次郎出演

黃金館 黃金町 電話二六二 當る五日より本年最終の特別大寫眞 ▲實寫 海底の美觀 ▲喜劇 チャプリン ▲探偵劇 怪力鬼勘兵衛 ▲チエリーの覺醒 ▲新派悲劇 空中飛行船

▲怪傑 稻生武太夫

義太夫界

▲梅若が[illegible]▲駒助の[illegible]三年本場へ遣つて修業させたら立派なものになるだらう[illegible]

小說 夜の蜘蛛 附錄第四面に掲載

淨法寺師團長の姪がお寺様らしいのでお坊さんの出入[illegible]

最新刊

大正九年 日記類全部荷揃

[illegible]

大阪屋號 書店 文房具

土地拂下取消

大正八年十一月二十一日付公告龍山町街路豫定官有地拂下ノ件ハ之ヲ取消ス

大正八年十二月六日 朝鮮總督府

冬の逆上と腦神經

▲頭痛と便秘の人は讀め

◆冷逆上と腦神經 冷逆上といつて冬季に多いる人がある、頭痛がし、肩が凝る、氣分が[illegible]其原因を調べて見ると大概は腦神經から起るのである[illegible]

◆其療法と腦神經 だから便秘を治し便通を快くすると同時に腦神經に直接の效を及ぼし[illegible]

◆何故に有効か [illegible]

◆寒中の腦神經 これから寒くなるに從つて[illegible]

連絡船上陸客

十九名、材田大次郎、同ため、中三、加藤億次郎、森三潤、加藤織、川ひで、中川實男、竹田重一、田次郎、新田晋次、伊東啓二、藤沼、中基、鈴木仲松、湯川靜松、同た、井上寛二、阪田みつ、三[illegible]

事實を誣ず 居を莇曹通りに打上げたと云ふたが外國宣教師の誤解を得たらも、お話になりません▲數の留守さへ其中に加はつて居るやうでし……の外ありませんでした。然し……誤つた思ひの……

大連近事

炭坑業者要求（撫順）

滿鐵に北産炭を納入しつゝある此に於ける一般の炭坑業者は來して十一月下旬滿鐵に對し此の買收炭價引上を要請し居り目下問題となり居れるが此の一般炭坑業者の現況を訴へ撫坑業者よりの滿鐵買收價格は本年三月引上を行ひしもその後諸物價並に勞銀は昂騰一方なるに加へ銀價の狂相場持續するありて採炭業は復父經營難に逢着せしものなりその如何なる途にせよ、斯業者經營上の活路を與ふるは、單り斯業者の爲のみに非ざるべしとされつゝあり

馬券の復活か

關東州にては先年馬券發行に就き中央政府の解決を得んと欲する處ありしかど、現行法上遂に其實現を見るに至らず、其儘となり居たるも、近時中央に於ても馬匹改良上の見地より馬券復活に關し特別法制定の意ありて既に該案は相當の進捗を見つゝありと傳へらるるが狀勢斯の如きものあるより、關東州にても之が制法を設けんとの內議あり、目下之が實現に對する歩を進めつゝありと傳へらる

銀相場緩和策

近來騰勢に騰勢を重ね狂相場を現出せし銀價が十一月末に到り若干の下向きを見せたるが、今之が因由を聞くに在上海の外國銀行業者等が現在の如き銀相場持續するに於ては貿易不能に陷るの外なしとて之が善後策協議の結果、上海、漢口、天津三港の銀兩の輸出禁止を緊要として領事團を通じて北京外交團に對して之が緩和策を講ずべく要請する處あり、之が影響にて、騰勢度なかりし銀價が僅に行支氣味を見たる次第なりと云ふ

金融界と金利

既記の如く大連金融界も鮮銀支店の貸出金利二厘方の引上に順じ市內銀行共預金利子を引上げたるが貸出利子は當分其儘となして暫らく金融界の趨向を見んとせるもの、如きが今や年末決濟期の切迫及び特產資金の需要最盛に入れると近き將來に新設會社の株式拂込資金需要等の爲め窮許金融界は一段の緊張を呈すべしと觀測されつゝあり

各銀行と金利

鮮銀大連支店の金利引上に伴ない大連市內各銀行は十二月一日より預金利子の引上を行ひたり卽ち定期一箇年六分五厘六箇月特別一日一錢五厘當座日步一錢三厘貯蓄年六分に引上たるが貸付利子は鮮銀が二厘の引上を爲したる外各銀行とも當分貸付利上を見合せ居れり

汽船出入數

大連港本年上半期間の出入船舶は汽船二千八百六十隻四百四十萬八千七百二十四噸帆船五千九百四十二隻七萬六千九百二十噸にして之を七年度に比し汽船三百二十四隻百十一萬一千五百八噸の増加にて帆船は六千十五百五十六隻五萬……十四百八十噸を減ぜり

仁川の商況

十一月中仁川の商況は戊克へ今や中の値上げ何の入津出廻あり當業者の手の多數あれど賣れ行き殆んど何様も呈し頗つて買方の値は頗る强硬を極め賣値百斤四十錢見當を唱ふるも買値一圓程度に踏み落さんとする有ある爲め結局取引不可能のこなり其他港に廻航せるもの半數に上り居れり

不振

の狀況にて越月せり輸入數量は百五十八萬斤に過ぎずして賣買三百二十八萬一千斤を算し先約の履行をしたる位にて新規賣買は殆んご稀なる態に在り此の狀況は尚ほ當分變化なからんと觀測せらるれど釜山方面は目下品薄にして強く仁川港の商權を侵さんとする氣勢あり既に同地商人の入り込み來れるを見れば今後は此等の人々の態度如何に依りて或は若干の變動を惹起するやも計られざるが如し輸入品は山東大塊成も多く百二十四萬五千斤を算し青島二十五萬二千斤山東塊八萬二十斤等にして合計百五十八萬斤を算せるが十一月末現在商人手持高は山東塊二千八百三萬斤關東州大日塊二千百七十九萬三千斤青島塊二十五萬二千斤山東塊一萬斤等にして合計三十三萬斤以上に達せり價格は

平均

山東塊一圓四十五錢青島塊一圓四十錢位を唱へ居るも前記の如く賣方の態度强硬にして此の唱へ値にては事實に於いて商內出來ざるもの、如く殆ど取引絶無の姿に在りと

仁川近海漁業 漁季漸く終る

十一月中仁川近海漁業は最早全く終漁期に入り內地人漁船の多くは內地及び南鮮方面に引揚げたるを以て僅少の殘留日船を數ふるのみなるが幸ひにして十一月中は天氣尚ほ良好に比較的好漁を持續するを得て例年よりは漁獲高も增加し昨年同期に比すれば金額に於ても六千餘圓の増額を示せり之れ一つに氣候の順調の和なりしに依るものにして平年ならば既に十月を以て殆ど終漁せられたるも本年は尚ほ僅少乍らも相當の漁獲成績を納めつゝありて十一月中の漁船出航數は日船七十隻にして水揚高五千五百九十五圓鮮船二百五十隻六千三百九十三圓に達す最近の魚價平均値は鯛一貫目二十六圓鰆九圓鰻十四圓鯔二十圓鯖十六圓十四圓位を呼べり

金融界と穀物

釜山の市況は閑散 釜山にては先月末の米價の高値に出廻りを呼び市況を呈せる折柄昨今金融の緊縮の爲めに殺がれ下落と同時に出廻りも減少せり盛數日內には出廻りに旨無ことならんとする傾向あり閑散を極む一面一般家の手許に居れば次に持米を手放す必要もなく端境期迄は出廻りなかるべしと（釜山）

永田理事長東上（安東縣）

公司理事長永田正吉氏は大正九年度豫算打合せの爲め去る三十日夜行列車にて上京の途に就きたるが今回の滯在は六七十日を要すべく來年二月中歸任する豫定なりと

內鮮人親睦會

江原道鐵原郡に於ては地方發展及び內鮮人間の融合を計る爲め東州なる會合を組織したるが其の趣旨大要左の如し（一）本會は東州會と稱し會員相互の親睦を圖り且つ地方發展を期するを以て目的とす（一）本會は幹事十一名を置く（一）幹事の任期は四ヶ月とす（一）本會は毎月例會を開く但し幹事必要と認むるときは臨時會を開くことを得（一）會費金三十（一）本會は第四條の目的を達成する爲め幹事に於て經營することあるべし（外略す）

營林廠の着材（新義州）

營林廠に於ける本年度の流筏は終了したるが其着送統計によれば鴨綠江に於て二十六萬三千尺メ、豆滿江に於て二萬五千尺メ合計二十八萬八千尺メにして豫定に達せざりしも價格の高騰により其收入は豫期以上になるべしと

守備隊落成式（春川）

江原道春川守備隊廳舍新築落成し本月三日同廳舍內に於て其主なるものを招待し落成式を擧行せしが山田隊長の式辭あり知事の祝辭あり守備兵の餘興等ありて盛會なりし

貨車配給順調（新義州）

新義州に於ける木材市況は目下結氷期に入りたるを以て朝鮮方面の建築工事も略一段落を告げたる如くなるも猶相當の注文入り込みつゝあり甚だしきは來年三四月渡し製材の注文ある由なるが昨今の貨車廻りは頗る順調也と

騰つた藥代

低くも一日分十錢の値上 仁川の醫師公休日

仁川醫師會では十二月一日から又もや藥價其他の値上げを實行した譯けでも追付かぬ投藥價の經常費の膨脹は醫者の營業上にも必然の結果として値上げを餘儀なくされたものだと云ふ僅か數ヶ月前思ひ切つた値上げをして、まだ間もなき此の日に又もや投藥一日分十錢の値上は患者を泣かせたるは云ふ迄もないが醫者も營業である限り而して之れに依つて衣食してゐる限り損失を招かぬ程度の引上げは當然の事だと云つてゐる處で今回の値上げ後の變化は什うなるかと云ふに從來內服藥一日分二十五錢であつたのが卅五錢となり頓服一つ貰つても三十錢外用藥は四十錢と云ふ譯であるから

一度醫者に

診察を受けると先一回一圓以上は掛ると覺悟せねばならなくなつた更らに注射劑が三十錢撒布藥が三十錢、注射一回は五十錢以上となり上に初診者には一回五十錢の診料を徵收する而も其の有効期間は一ヶ月間であるから中途で飲み通して居らぬ限り先づ此の者は風邪引く毎に腹痛が起る毎に五十錢の診察料を加へて拂ふと云ふ事にならう、お醫者樣こそは中休みなしで患者があれば何時でも働かれる者だとされてゐるが時勢は遂に

醫者公休日

なるものを作らせた、仁川は第一第三の日曜及び祭日卽ち雜貨商や金物商等の休業日が醫者も休みの日に相當してゐるから病氣するにも加減して時を計つて病むで貰はねば困る但し急病人などの時は特別で往診する位は居合せた醫者の絶對拒絶はしないが投藥等は此日一切休止すると云ふ都合であるとか（仁川）

虎疫猖獗（甘浦）

慶北甘浦の虎列拉は其後益々蔓延の徵候あるを以て當局に於ても頗る防疫に努めつゝあるも容易に終熄するに至らず最近に於ける患者は百右名に達せりと

森林の取締（新義州）

營林廠管內森林は大正九年度より六十箇所に保護區を置き一區毎に判任官の森林主事一名を配置し且つ同所又は五箇所を統一する爲め主事兼技手を置く事に內定したるが此任務は森林の火災、盜伐、盜墾を豫防する爲めなりと

鴨綠江結氷期

岩浦附近の鴨綠江の全部結氷は去る三十七年以來左の如くなり明治卅七年十一月三十日同三十八年十二月十二日、同三十九年十一月十八日、四十一年十一月二十四日、四十二年十一月二十七日、四十三年十二月二日、四十四年十二月六日、大正元年十一月十四日、二年十二月十四日、三年十二月二日、四年翌年一月二十三日、五年十二月十四日、六年十二月十一日、七年十二月十二日にして最も早きは大正元年の十一月十四日晚きは大正四年にして卽ち翌年の一月二十三日なりして以上の平均日時を算すれば十二月七日に相當す然れども結氷時日の相違は前表の如くにして酷寒の襲來に際し其の持續期間の短長又其の年に於ける氣象狀態の差著大なるに基因するは勿論なれども既往十數年の結氷當時に於ける前後の平均氣温其他を參酌し之を十四箇年の累計氣温と對照歸納するに本年にありては江面一帶の結氷を見るは十二月前後にあらざるかと思惟さる（龍岩浦測候所調查）

伊達騒動

小金井芦洲講演　第八十一席

荒木和助の行方

文『暴風雨の中を鳥渡遊びに來たと云ふのも可笑なものぢやございませんか、門番所でさへ申しました、此の雨風だから御家中の方で市中へ出た者は一人もないと……』錠『だから其處を旨くやるのだ、使ひと言ふものは先方で云ふだけのことを唯聞いて來る許りが使ひではない、旨くやつて參れ』文『ヘエ宜しうございます』と春暗の文助も少し不滿足だ、表へ飛出したが心の中 文『今夜つては今夜は稀な晩だ、那んな人使ひの好い思ひやりのあるお情深い旦那が今夜に限つて何んだつて斯んなにお使ひなさるんだらう、御酒を召上つても少こもお醉ひなさら無い、一口召上つちやア考へて文助〳〵……此奴ア困つたなア俺が心から出た様にして聞けてんだが、何んこか好い工風はあるめエかオヤ、何時か渡邊樣のお小屋まで來ちまつた、好い智慧が出さうなものだ、仲間部屋の此方へ來てトン〳〵 文『オイ伴介……』伴介と云ふ仲間はお仕着せの御酒を戴いて好い心持に醉つて横になつて小唄か何か頻りに唸つて居たつけ 時『エ、騒々しい誰だい 文『時介乃公だ乃公だ、鳥渡濟まねエけれども、此處を開けて呉れ、松前の文助だ 時『何だ文公か此の降るのに何んだ 文『彼所まで來ると下駄の前坪を切つてしまつたい、濟まねエけれども鳥渡此處を開けて呉れ 時『コウ下駄の鼻緒を叩き切つた、碌なことはしやアがらねエ、サア這入んねエ』ガラ〳〵ッ 文『ウフッ酷い雨だ 時『什麼した 文『今夜ッ

世間の悪いこたアありやアしねエ 時『這入んねエナ、此のマア降りの中を何處へ行つたのだ 文『旨くやつて居やアがる、汝ゐは揉ましい 時『主人が優しくつて人使ひが好いから、而して萬事折り目切り目に渡るものが渡つて仕合せだ 文『時介今晩は此の通りの暴風雨で別に用事はないから酒を遣はす、悠然とやれとか何とか云ふので御酒を戴いたな、打つて變つて此の俺なごは此まり木が惡かつたので主人が沒漢、人使ひが荒くつて錢使ひが細けいと來て居るから、お宅にさへお出でなさりやア猫が轉んでも是れ文助、横の物が倒れてもヤレ文助、縦のものを横にするんでも人を使ふんだ思ひやりのねエこと、云つたら此の暴風雨の中を使ひに歩いてるんで分つてるだらう 時『だがよ 松前樣は大抵に御殿勤めだからお宅にお出でなさらねエは樂だらう 文『其時だけよ、時『歸つて來られた日には往生だ 時『然うか、其奴ア氣の毒だなア 文『ア、然んな愚痴を云つても追付かねエが下駄の鼻緒を切つちまつた、汝ゐのを貸して呉れよ 時『ウム其處にあるから履いてきねエ 文『有難う、今御用で云ふにはヤレ〳〵文助さんの難だ此降る中を……何處へ往つた、ヘエ、鳥渡町まで、然うか、此の大雨で御家中の方だつて小者一人出た者はありやアしねエ、汝ゐばかりだが、ヲ、然う〳〵廣尾の御家來の荒木和助樣が渡邊樣までお通りなすつたが彼の方も大變だらうとコウ云つたがお客樣があるんだらう、荒木和助が來て居る……時『莫迦なことを云ふねエ、話方もお客樣なんぞはありやアしねエや 文『全くか、エ、チイ 時『當り前よ、お客樣があれば何時御用があるか分らねエ、斯んなことをして居られるものかい 文『それも然うだが、ぢやア全くお出でなさらねエ 時『俺んの旦那は御新造樣のお前で召上つて今頃はお寢みだ、寢夜中だらう 文『其奴ア占めた 時『ナニ…… 文『イヤ此方のことだ』

冬季の肌着

毛織物と木綿物の……

寒くなりますと肌着は綿物よりも毛織物の方を誰しも好んでお用ひになりますが毛織物は保温上に良いけれども肌の汚物を攝取する性に乏しいのであります、之れは衞生上の問題は大なるものでありますされば若し毛織物をお用ひになつたならば何うしても入浴を怠らないやうにする事が肝要です、木綿をお用ひの時には洗濯を怠らぬやうにする事が必要であります

將棋新手合（六）

角落六段 溝呂木光吉氏（京城）
二段 ▲ 同 田 豐氏（釜山）
（但し前號指手迄の局面）

△二八飛▲六五步△五七銀▲……六步△同步▲五五桂（テ）△四六步……三六銀▲六八步ナル△同銀▲……六步△三五銀▲同步（以下次號）
▲（テ）五五桂は惡し三五桂と指すが面白し

十二月九日

火曜日（舊十月十八日）二黑 ▲先負▲尾▲危

▼二黑▲迷はず正業を勵むべし
▼三碧▲思ひ設けぬ所にて慶び事あるやも知れず但爭を避くべし
▼四綠▲平運にて早いが勝の日
▼五黃▲職に歸りあるやも知れざれご能く考へて爲さば萬事吉
▼六白▲外面好くも內輪惡き日
▼七赤▲苦勞多く共甲斐ある日
▼八白▲考へた上で事に當る可し
▼九紫▲平坦なる日にて穩かなる日思ひ立ちし事は爲して宜し
▼一白▲思ひ掛けぬことの出來るやも知れず往來すべき日なり

人蔘王
京城本町壹丁目 電話 一八四八 一八七〇〇番
㋡津村兄弟商會

建設計畫

……經營費に關し收容……回の經費を計上し今期議會に提出する事に決定せり 東京高田太郎、……栗……衞、和田由常、玉水孝次郎、富永鶴雄、……村瀬貫一、柏德一郎、小西庫太、小野市太郎、川崎喜七、並木ゑみ、……樋崎喚右衞門、二等（三）……義孝、同八重、小崎龍彦、濱本國……

羽二重のやうに肌をスベ〳〵させるホーカー液

今が肌の手入時！

ホーカー液を朝夕お忘れなく塗けて居ますと肌は見るからイキ〳〵と艶を增しスベ〳〵と滑らかになつて透きとほる樣な美しさとなります、女の方は勿論男の方も隱化粧料として離されぬはその爲で御座います、特に女の方はそういふ美しい肌にならねば白粉も思ふ樣にノリませんから平素の御愛用が大切で御座います。

朝夕の一滴が美の基

色艶を麗しくする
家庭化粧料
ホーカー液

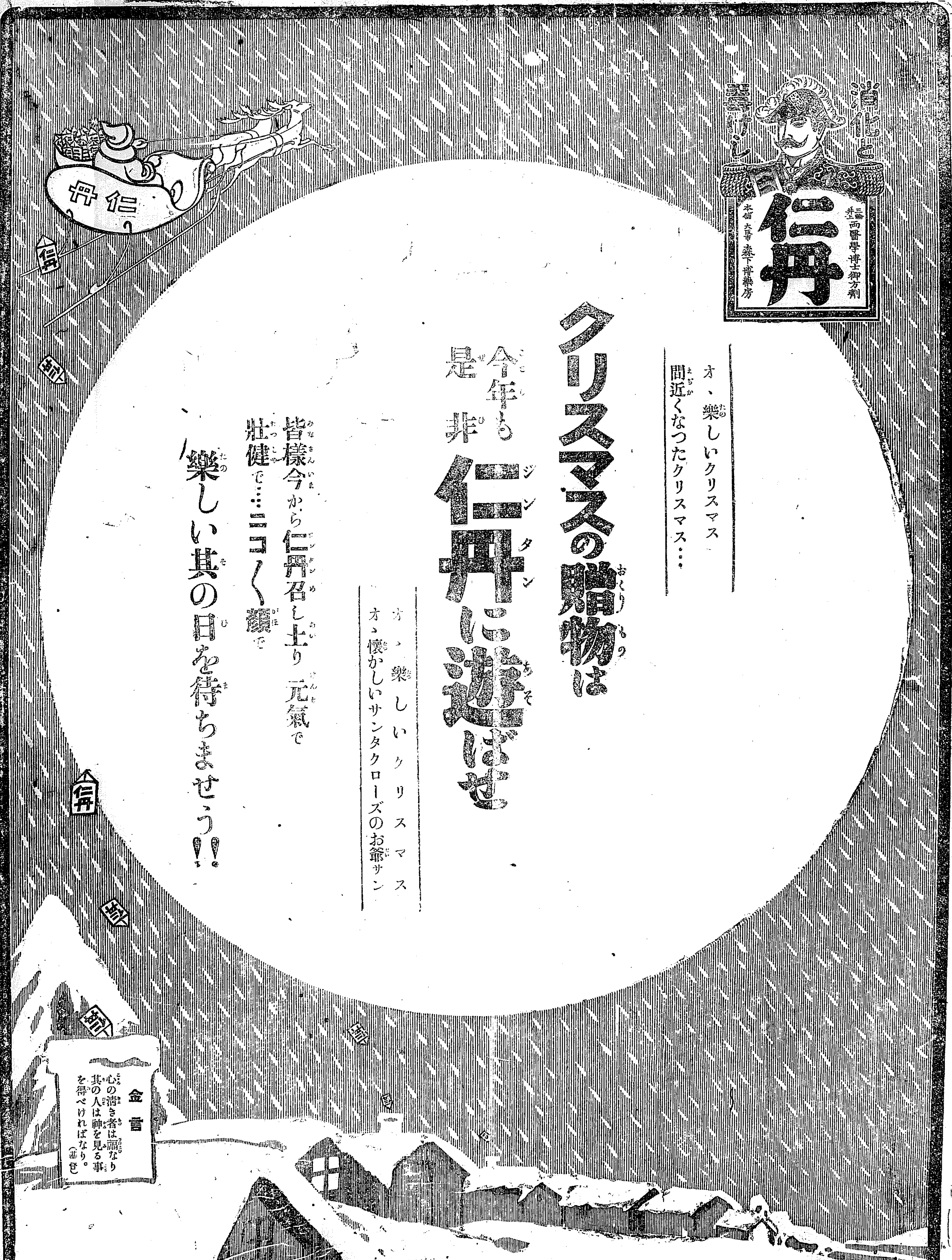
肌の荒れ易い節に入りました

これから冬にかけては誰人も肌アレに苦しめられます、冷たい風が知らぬ間に美しい頬をザラ〳〵にしたり、水仕事を爲さつた後に手が切れたり致しますから外出の時と水仕事の後にホーカー液の一滴を擦込み加減にお塗けになる事は忘れられません

定價 廿五錢 五十錢 一圓 送料 十錢 內鮮 四十錢 六錢

ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカーパト ホーカー髮油

本舗 東京市神田區和泉町 堀越嘉太郎商店
電話神田長特 一一一四 四四四五 五六 振替東京


仁丹
消化と毒けし
三輪 井上 西醫學博士御方劑
本舖 大阪市 森下博藥房
仁丹
オ、樂しいクリスマス
間近くなつたクリスマス…
クリスマスの贈物は
今年も是非仁丹に遊ばせ
オ、樂しいクリスマス
オ、懷かしいサンタクローズのお爺サン
皆樣今から仁丹召し上り元氣で
壯健で…ニコく顏で
樂しい其の日を待ちませう!!
金言
心の清き者は福なり
其の人は神を見る事を得べければなり。
(聖書)

釜山支局新築落成

釜山の將來に就て

釜山商業會議所會頭 大池忠助氏談

京城日報社が我釜山に支局を創設せられてから[illegible]

[illegible]

商業的新使命

[illegible]

釜山全景

工業的新使命

[illegible]

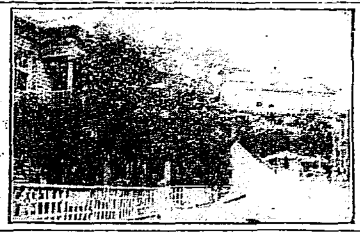
大正公園

關釜線の過去及將來

(承前) 鐵道院門司管理局釜山派出所

(二)貨客運輸

[illegible]



釜山府廳

釜山地發着運輸統計

[illegible]

釜山以北發着運輸統計

[illegible]

大正三年中對大正八年中增減比較步合

[illegible]

(三)將來

[illegible]

祝支局新築落成

米穀 縄莚叺 麻袋・糸 卸商

釜山本町一丁目角 中村長太郎

長 電話 二二一番

祝支局新築落成

毛織物既成品商

釜山辨天町 惠美屋

電話五四番

祝支局新築落成

海産物貿易商

釜山府南濱町貳丁目 千原商店

電話八一〇番 電略(チ)(チハラ)

祝支局新築落成

釜山府辨天町(電話七五番)

三中井吳服店

京城、大邱、平壤、元山、晉州 京都 仕入店

祝支局新築落成

釜山南濱町一丁目

登錄商標 釜山食糧品株式會社

專務取締役 石原源三郎

電話四七六一番

祝支局新築落成

銅、鐵、鋼、錫、鉛、亞鉛、其他雜鐵類

釘、平板、浪板、亞鉛引鐵線類

釜山埋立新町 英 友次郎商店

電話長四六二番 振替京城七一四六

祝支局新築落成

寫眞機械材料 サンエス萬年筆

釜山本町一丁目 岩瀬商店

電話七五五番 振替京城七七八番

祝支局新築落成

縄叺肥料 安價放賣

釜山大倉町 大西常一商店

電話(四九八) 振京(一三七八)

印魚腸肥料製造 絶影島 大西製肥工場

造船業の權威者
中村造船鐵工所 中村久藏氏

朝鮮造船界の最大權威者として自他共に許されたる中村久藏氏は釜山府牧島仙洞に數千坪の大工場を開設し一方南濱町一丁目三九番地に船具商を營み朝鮮に於ける成功者の一人者たるに至れり、氏は慶應二年山口縣に呱々の聲を揚げ其後長崎方面に向ひ專ら造船業の研鑽を重ね明治二十二年始めて釜山に渡り全鮮各地を視察したる結果釜山は斯界の最適地たるに着眼し始めて造船事業に着手せるが當時經營困難を排して自ら工場に立ちて精勵し今日の成功を贏ち得たり其間氏は造船業の改良進歩に腐心し繁忙中小閑を利用して長崎に出向し機關部に使用すべき簡易なるクレーン及び船底掃卸用のヘット式等の構造を研究し始めて之れを使用したるが其後續々として造船業者起れるが何れも殆んど之等の便法に傚ふに至れり、而して氏は單に造船界の創始者たるに止らず現在に於ては釜山學校組合會議員、商業會議所議員、造船組合長を始め廿餘の名譽職に擧げられ殊に絶影島の第一人者として重用せられ萬般に亘りて氏の關係せざるはなく島民間に重きをなすに至れり右南濱の商店は息啓造氏に委し造船工場は息高次氏に讓り目下專ら公共事業に盡瘁しつゝあり、後繼者高次氏は東京高等工業出身の技術者にして明晰の頭腦は父に劣らざる經營振りを發揮し閑暇を得ては阪神地方に遊びて小野田造船所を始め幾多の工場を視察して工場の設備造船上に關する智識の造詣を圖り今や義勇艦隊以來は獻身的に業務を勵め居れり釜山防波堤工事も愈々五箇年繼續事業として實現さるゝに當り之れに使用さるべきプリストマン式浚渫機艦の新造工事數隻の工事を請負ひ既に一隻は完成して土木局に引渡し一隻は目下艤工中の一隻の竣功を了し目下殘工中の

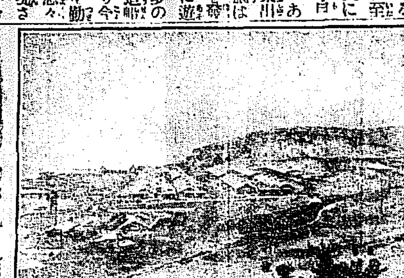
中村造船所

を急ぎつゝあり同は乃ち氏が經營して久藏氏の今日職工を督して夜々精勵せる工場の一部にして閣中の敷地は將に一段の光彩を放ち高次氏の經營に成功を告げんとする浚渫機船二隻竣工なり、尙高次氏の斯業に對する抱負大にして將來の發展に至れり

落と共に方法及び經營上の改良を實施すべく目下計畫中なりこの事なれば近く理想的の新進利器の使用と共に斯界の爲め頗る歡迎さるべき施設の實現を見るべく

活牛界の成功者
釜山鎭 上杉古太郎氏

抑も朝鮮活牛の內地移出たるや飼養の微すべきものなきが今を去る三百餘年前の昔より我朝へ輸送せるを以て嚆矢となす明治二十三年の交大分縣人佐藤某が試みたるを中興として日清戰役後隆盛を來し漸次今日の盛況を呈するに至れり而して朝鮮牛は全南木浦港より陸中の移入を見る外主として釜山港を經由して下關なる活牛市場に輸送せらるゝその中三、四歲の牛其六割強を占む其の用途は主に耕作及び勞役に使役さるゝことの由來朝鮮牛は性質溫順使役に適するを以て農家の推奬するもの多し明治四十一、二年の牛疫流行せし以來總督府は釜山に移出牛檢疫所を設け嚴重なる檢疫を施すに至り此處に於て移出牛に對する病疫を懸念するの要なく益々增加の趨勢を示し殊に最近大正八年九月より移出牛の關稅は移入牛と共に全然撤廢せらるゝに至りしむるに至れり今最近數年間に於ける釜山經由の朝鮮移出牛數の統計を見るに大正六年度一萬五千頭、大正七年度二萬餘頭に達し本年は既に三萬頭を越しが年內には恐らく四萬頭に達するに至らん此等釜山經由の移出牛過半數は實に移牛移出の功勞者として知られたる上杉古太郎氏により移出せらる又氏の事業が如何に盛んにして將來益々



移出牛檢疫所の景

活牛界は朝鮮人なり且幾多の經驗は今日の商機を見るに敏に決斷に富める大商人たるの資格を供へ行せり氏は四十年末釜山鎭に渡り七年前即ち大正二年父君の病歿すると共に其の業を繼ぐ時に年齡僅に二十有六歲無論父は多額の産を有せしにあらざるあり

す僅々數萬坪の荒蕪地を造成して殘せしのみなるに加へ當時釜山經由の移出牛は一ケ年僅かに二千頭以內に過ぎざるの狀態なりしかば氏の家業は從つて微なるものなりしに拘らず一意專心父業を繼承して須臾も家務の發展を忘るゝ事なく精勵刻苦以て今日の成功を贏ち得たる實に青年實業家中の異數として世人の嘱目措かざる所たり氏の事業がしかく長足の發展を示すに至れるは內地に於ける活牛需要の增進が大いに與つて力あるべしと雖も亦以て氏の熱心なる精勵の結果たるべし況んや本年九月よりの關稅の撤廢により活牛移出の將來益々多望なる推して知るべし上杉氏の斯業に對する今後の活躍愈々目覺ましきもあるべく之れ氏に期待する處亦尠しとせざるあり

商店を以て各地の便宜を計りつゝありと云ふ

滿鮮に活躍せる
東洋燐寸株式會社

東洋燐寸株式會社は安全燐寸界の元祖たる瀧川燐寸造氏が四十有餘年來の經驗と努力に因り發明したる安全燐寸を作製し居れる瀧川燐寸所(瀧川儀作氏所有)兵庫燐寸社(瀧川辨三氏所有)兵庫良燐社(瀧川儀作氏所有)の三社合同し以て瀧川燐寸會社なるものゝみ組織せり其後歐洲戰亂勃發以來一般燐寸業界に大革新を來すと共に神戶鈴木商店の資を俟ち資本金四百萬圓を以て始めて東洋燐寸株式會社の名稱の下に生れたるものなり爾來事業擴張を圖り本社を神戶市下山手通六丁目に置き輸移出部を榮町二丁目に設け工場を三十餘箇所に建設し數萬の職工を使役し製造をなしつゝあるが年額實に卅萬噸(六百打入)即ち一億八千萬打(小函二十一億六千萬個)に達し是等の販路は支那、南洋、印度、亞弗利加、米利加、巴爾幹、滿洲、露領、朝鮮の一帶に及べり就中朝鮮地方は近來著しき需用增加を示すに至り燐寸輸入總額の九割を占め居れり販路狀況は双鹿票にありては南鮮一帶に羽鹿票は北鮮地方より中央部に及び慶尙北道地方より間島、滿洲方面に行き渡り實に燐寸界の王者を以て任ぜらる斯の如きは同社が獨特の製法により精選なる材料を用ひ色々として多年研究の結果改良に改良を重ね品質佳良なるに加へ各地に販賣網を置きたるに起因するもの

徐々販路を圖れる尙燐寸元賣捌組合商店左の如し

好良なるに起因するものと云ふべし而して釜山出張所主任たりし植田賢次郎氏は當時朝鮮各地の擴張に努め其後本社詰に轉じ後任として鮎澤重吉氏就任し

嘱目に價するかを想像するに難からざるべし氏は香川縣香川寺の出生店舗を釜山鎭に有し年齡三十有二歳の青年實業家にして

羽鹿票 十 双鹿票 十

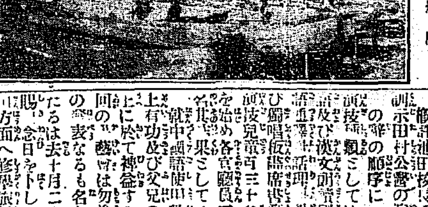
△仝 目下 浩七郎 商店
明治屋商店、おづまや商店、松前釜山出張所、小野雜貨店△馬山吉谷金太郎商店、大邱松前商店、群山東松田商店、仁川河野商店、京城森久商店△平壤河野支店、森久支店、廣田

精米界の巨擘
宋台精米所主 宋台觀氏

釜山に於ける富豪家として名高き宋台觀氏は大正六年釜山に出張して佐川洞(釜山鎭)に寄寓し時機の渡來を待ちつゝ一ヶ年有半の間は專ら精米業を研究し佐川洞に於ける所有の精米所を買收し精米業を開始す氏の精米所に於て精白する數量は一日に驚くべき巨額に達すべしと云ふ氏は單に營利一偏に止まらず公共の事業に貢獻せんとする志旨なり而して取引先は內地及鮮內沿岸に及ぶ氏は統監府時代に侍從次長の榮職に在りて李朝の宮廷に重きをなし併合前日本勳三等旭日章を拜受して一時は山の片田舍に閑居し各地に農場を開拓しつゝありしが近年に至り諸會社重役の椅子を占め實業界の重鎭たる地位に至れり精米所は日に繁盛を極め居るより取引先の信用最も厚く漸く中鮮の各地より注文を見るに至り

奮闘の勝利者
宮本造船所主 宮本幸吉氏

釜山絶影島東部に聳ゆる數十の船形を列べて工事の進捗に忙殺されつゝある宮本造船所が釜山に創設されたるは遠く明治三十七年日露戰役當時にして爾來約三十年の古き歷史を有し今や釜山港灣設備工事用の土砂運搬船四十隻の請負をなし隆盛を極めつゝあるが店主宮本幸吉氏は廣島の產にして溫厚篤實良く島民の擁護として活動を續けつゝあり造船界の變動に連れ幾度か挫折し幾變かの窮境に陷りたる事ありしも堅忍不拔の精神を有する宮本氏は斷乎として之等の困苦と戰ひ徐ろに大成を期して志しを高遠に抱き以て今日の成功を得るに至りたるは當然氏が犬馬の資に使ふは論なし目下宮本氏は朝鮮總督官房土木部の大工事を請負ひ尙諸官署會社の請負事業に從事し自ら內地よりの諸材料の買入れ職工の雇傭等に腐心し工場にありて其數十名の職工を督勵して工事の完成を圖り居れり一月中旬には數隻の工事を完了し



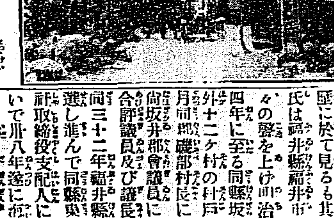
宮本造船所

砂運搬船の進水を了して更に幾多の工事に忙殺され居れり、宮本氏は現在の工場にては狹隘なるを以て工場の擴張及び設備の完全に意を注ぎ夫々計畫中なり

閑業以來終始一貫其の經營に殆んど半生の努力を拂へる荒井信長に推薦せらる、事務所現在北海道にありと云ふ

南鮮唯一の旅館
東萊溫泉旅館 荒井信之氏

南鮮釜山港の玄關たる以上の推移に伴ひ旅客待遇の上に於て設備の改善に多大の注意を拂ひ今や設備の完全と旅客に對する懇切とは內外に知られ而して旅館の所謂「ガスリ」の外に釜山の眞相を見る者は內外の旅客に於て極めて僅々なるを恐る旅客の態度に東萊溫泉の一大旅館として精選の料理、旅客に就て一切の世話を嘱託せしめんとする旅館の一つは荒井信之氏が經營にかゝる東萊溫泉蓬萊館なり、一つは東萊溫泉場に至る間の運輸部、慶南鐵道、水産組合等の指導の金融組合、慶尙北道組合等の指定旅館たり尙大正七年十一月溫泉場に支店(釜山東萊館)を設置し本支店の連絡を取り以て經營者中の唯一人者にして益々將來の發展は火を睹るよりも明かにして氏が左記閱歷に於て見るも其面目躍如せり氏は福井縣福井市江戶下町に呱々の聲を上げ明治十年より同廿四年に至る同縣坂井郡上安田村外十二ケ村の村戶長たり同廿年同郡磯部村長に選ばれ就職中同郡會議員に福井縣會議員に選ばれ同三十二年福井縣々會議長の要職に當選し進んで同縣東洋精綿株式會社取締役支配人に當選在任し次いで卅八年遂に渡鮮前記旅館の營業を開始し其の地の發展の爲めしを抱き渡鮮前記旅館の營業を開始し爾來着々として門戶を構へ今日の盛況を見る其の開發を誇り



東萊溫泉旅館荒井支店

山の消長に渺少ならざる關係を有するは言を俟たざる所なりこ

華川學藝會

去十一月十九日江原道華川公立普通學校にて修學旅行學藝會を始め學校長の開會の辭君ケ代合唱、學校長開始の訓辭後、郡守の訓示田村公醫の演說學校長の閉會の辭の順序にて一時に終る演技觀に於ては國語朗讀、國語話方獨唱、漢文朗讀、國語唱歌、合唱及び獨唱等の演技にて其技兒童百三十名家族三十名を始め各官廳員三十名來賓其他約百名に於て神益する所少からず、殊に父兄の向學心を涵養し就學兒童の增加を計る等の好果を見、更に國語の普及を圖ると共に兒童の自覺に有功なる兒童の智能を發表せしめんが爲に特に修學旅行を施して學年の兒童を連れ去る十月二十四日より約三日を以て方面へ修學旅行を決行せしめたれば其功果を大ならしめんが爲め學校長の一致の精神を以て教育の盛事を引率し父兄の理解を求めて兒童其間に好果を擧げ(春川)

貿易業に貢獻せる
白山貿易株式會社

白山貿易株式會社は大正八年六月創立し漸次堅實なる經營を爲し我朝鮮貿易界の爲め大いに貢獻しつゝあり同社は他の貿易業者に比し遙かに規模大にして年々增進せる取引高は一層の發展を示すに至れり

尙同社は目下の人材を網羅し加ふるに日本人顧問を支配人代理として多年の經驗に富める朝鮮正良氏を有する白山貿易株式會社は大正八年六月創立し漸次堅實なる發展を遂げ我朝鮮貿易界の爲め大いに貢獻しつゝあり同社は釜山に支店を設け尙內地各要地に支店出張所を設け大いに活動し居れり加ふるに來春を期して

社長 崔浚氏
專務取締役 尹泰氏
同 安熙濟氏
取締役 尹炳浩氏
同兼支配人 許杰氏
取締役 趙東源氏
同 鄭璣和氏
同 李鉉奭氏
監查役 李相殷氏
同 尹愚源氏
同 金鍾斌氏
元山支店長 文永鎬氏
同 洪熙氏

株式會社を組織したるもの(元合名社白山商會)資本金百萬圓の輸移出品目は左の如し
米穀、雜穀、海産物、朝鮮麻布、朝鮮紙、牛皮、荒物
綿糸、綿布、食鹽

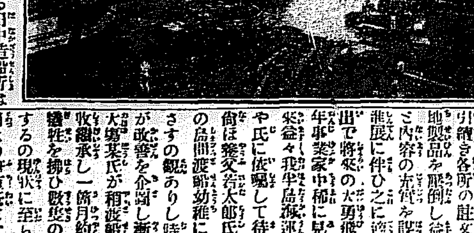
等にして米、雜穀の取引を主とせるが就中其移出品中朝鮮紙は現今最も需要を喚起して注文殺到し益々內地の需要を喚起して注文殺到しつゝあり殆ど釜山移出の過半を一手にて占め居れる有樣なり又食鹽は遍く全鮮に供給しつゝあり今や本社の取引先は朝鮮全土及び日本內地は勿論支那滿洲沿海州に及び頗る廣く同社は大釜山港に根據を据ゑ加ふるに終始一貫の確實なる商策を採り全社員協力一致今後の發展を期し勇猛邁進しつゝあるは我朝鮮貿易に貢獻する所尠しとせざるべきは推して知る可し

し大阪に支店を設置すべく目下準備中なるが其主なる營業種目は左の如し

造船界の功勞者
田中清氏

朝鮮造船界の一大功勞者たる田中若太郎氏の意を保持しよく家父を扶翼し今日の盛大を來たせるに至る迄には多大の苦心と犧牲を拂ひたるが其効果空しからず今に同所にては總監部警備船千代千鳥各川馬力を有する二隻を建造し好評嘖々たる成績を收め引續き各所の註文に應じ今や內地製品を壓倒し益々設備の改善と內容の充實を謀り益々時代の進展に伴ひ之に適應せる措置に出で將來の大勇飛をなさせる青年事業家中稀に見る所にして將來益々我半島海運界に貢獻するや氏に依賴して待つべきのみ尙ほ癸父若太郎氏は未だ釜山牧の島間渡船幼稚にして扁舟に棹さすの觀ありし時代より專ら之が改善を企圖し漸くにして中頃大島某氏が和渡船改良の後を襲ぎ收繼承し一箇月約二、三千圓の犧牲を拂ひ數隻の發動船を使用するの現狀に至らしめたり而して月より府直營となるに際し公共の爲損益を度外に置き之れが施設に盡力せる單に同島發展の上より見るも多大の功勞者と云はざるを得ざるなり氏の嗣子清氏が半面社會公共につくせる意義の發展と共に益々見る可きを信ずるものなり。

る絶影島洲崎なる田中造船所は嗣子田中清氏擔當せる所にして明治二十三年渡釜以來終始一貫造船業に畢生の努力を拂漸次業務の擴張を計り之れが根本的施設として擧高數基を備へ五百餘噸級の新造並に修繕に應じ一方機械工場部を增設して機關部の修繕を爲すの外同所製作の發動機は「ボリンダー」式一名ゼミズイゼル式と稱し從來の缺を補ひ長を採り取扱簡便を主とせる最新式の物にして之れが創案を見る



田中造船所

祝支局新築落成

朝鮮釜山本町一丁目一番地
朝鮮水產輸出株式會社
電話 一二一五番
振替京城五九五八番
電信略語(スイ)

祝支局新築落成

營業課目
一 鐵道院關釜連絡貨物取扱御用達
一 南滿鐵道朝鮮線大荷物連滯輸送
一 海上運漕及陸上運搬業
一 船舶傭船、賣買、仲立業
一 日本船主同盟會所屬船舶取扱
一 稅關貨物並通關事務取扱
一 陸海軍、外諸官廳御用達
一 石炭、火山灰、販賣業
一 神戶海上火災保險株式會社代理店
一 福壽火災保險株式會社代理店

連滯輸送は朝鮮線全部(咸鏡線北部を除く)安東驛大阪、神戶、兵庫、尾の道に至る大荷物連滯
滿鐵朝鮮線納炭に關する海陸運搬作業請負
釜山關門間定期航路、釜山長崎博多對馬壹岐各港

釜山 澤山商會
電話長七〇五〇・六〇八・八一六番

祝支局新築落成
土木建築請負
釜山本町五丁目
木下元次郎
電話長六三七番

祝支局新築落成

支那向海產物輸業部
寒天製造貿易商
中村俊松本店
釜山埋立新町
電話五六電略ト(又ハトシ)

鹽乾魚一切日用雜貨卸商
中村俊松支店
主任 吉井圓作
釜山南濱町
電話四六七・電略〇トシ

醬油味噌發賣元
中村俊松釀造部
主任 吉井宥治
釜山寶水町
電話六八七・電略〇トシ

運送界の泰斗

岩橋通關運送店

遂次に於ける歐州大動亂の勃起するや海運界の活躍は特に可驚き盛況を呈するに至り、陸上運送界も亦著大なる發展を促し運送業者の活動は實に人をして驚嘆せしむるの活況を呈するに至る。就中朝鮮の門口たる釜山港は東部に於ける關門にして又貿易港たるは吾人の能く知る處にして一年の貿易額は一億圓を突破し全鮮貿易額の過半を占む故に輸移出入の通關額は實に巨額に達し釜山埠頭の盛況は同地關以來の壯觀たり、今紹介せんとする岩橋通關運送本店は此巨額なる通關荷物を殆ど同店一手に扱ひ處理し、税關前の營業所は常に數十臺の荷車に埋られ店員の活動は恰も戰場に在るが如く、其の活動其れの如し、店主岩橋一郎氏は明治十三年生れにして元氣旺盛なり、氏は渡鮮前九州鐵道株式會社に社員として精勵の聲高く同三十三年渡鮮釜山の人となり京釜鐵道株式會社通關貨物取扱ひ人として囑託を受け更に同三十五年十月貨物運送取扱ひ業を創始す爾來人口の増加に伴ひ行通の頻繁なるに及んで朝鮮鐵道貨物取扱ひ人及び南滿鐵道株式會社認可貨物取扱ひ人に指定せられ著實なる方針に基づく取扱ひ方法は著しく世人の信頼する處となり從つて其筋に於ても信用亦淺からず遂に鐵道院公認運送取扱人に指定せられたる鐵道院公認運送取扱ひ規定に基づき認可申請するに及んで第一回に於て公認せられたり、同店の支店は各地に配置し近きは草梁、馬山、鎭海、遠きは大邱、金泉に及び而して其略的動作の正確なる事同業者間の等しく羨む處となる、氏の最も注意を拂ふは荷物通關にして赤誠以て事に從ふ故に自然其の筋の親む處となり同店の通關は自ら敏速に容易に運ぶに及んで荷主側の好評益々高まり其の取扱ひ數は釜山驛に於ける承認店中常に一位を占め、大正七年度に於ける納金高は實に七萬餘圓に達し本年も亦半期を過ぎざるに六萬餘圓の貨物運賃として納入せりと云ふ、氏は福岡縣人にして資性温厚にして篤實なり氏の次弟次郎君は現に陸軍大臣副官の榮職にあり叔弟三郎君は熊本縣菊北郡長を務め兄弟仲睦まじく鄕里の好評最も高し氏は釜山府維新の當時より此地に在りて公共事業に盡瘁する事少からず故に府民の信用厚きを以て擧げられて元府協議員となり公共の爲め身を挺して東奔西走倦むを知らず能く其職を全うし永年に及びしが時局の然らしむる處事務頗る頻繁なるも

岩橋運送部

設し易きを選び海運界を促し或は支店を廻訪して送荷を敏速ならしむる等常に閑暇するの暇なき

を以て公職は茲數年間悉く辭退しこ雖も同業者の組合は拒み兼ねて役員こなり現に副組長を務むる處なり

而して斯業の爲め公私共に盡瘁しつゝあり、氏は運送業の外海部、河東部、草梁部に數十町歩に亘る農園を有し農事經營に樂しみつゝあり、如上の如く釜山運送業の權威は氏の一手に歸し業務は日を追ふに隆盛に赴きつゝあり現在に於ける事務員四十二名（内地人）附屬仲仕（内鮮人）約四十名を算し、店車として牛馬車、荷車を合して二十二臺の設備あり久敷西歐の大動亂も不幸に終りて平和克復となり歐洲航路も漸く開通し斯業の活躍は一層大となるに隨ひ奥地よりの荷動繁くなり加ふるに西伯利亞出兵問題の解決して後、哈爾賓方面を日本側の管理する處となりて之に向つて移住する者激増し同方面に向つて朝鮮各地より送荷するもの多きに到り同店の業務も亦著しく繁忙を極むるに至るに當り、氏は猶ほ[illegible]壯年なれば世人の等しく囑目する處なり

魚市場の大立物

釜山水産株式會社

南鮮一帶の漁業は實に莫大の額に達し其漁獲物の如き過半は總て釜山港に集まり釜山水産會社の市場を經て各仲買人の手に依り朝鮮内地は京城、大邱、大田を始め各樞要地の魚市場に搬出さる又日本内地は京阪神より東京方面に至れり冬期に於ては滿洲より北支那の各市場に運ばる釜山水産會社は明治十六年七月日本朝鮮貿易規則に依つて各漁業者の不便あり加ふるに廿二年日韓漁規則制定せらるゝに際し漁者の出願許鑑札の所有の必要となるに當り不穩の履行を不知爲めに往々犯罪者を出す事砂からざりしため釜山一般有志は斯業の指導、保護の必要なる事を感じ同年四月資本金五萬圓を以て釜山水産會社を設立せり、而して專ら漁場の調査、漁具の試驗、漁具の適否供給、餌料の採取等苟くも斯業に關する諸般の研究調査をなし一面各漁家に紹介し社員をして日本各地に出張せしめ朝鮮海特有漁業の出漁奬勵に努め或は資金の貸與、漁具の貸與、漁場の便宜等有らゆる方法を以て誘導せり又一方漁獲物の價格の公平販路の擴張を計る爲め更に同社經營の一部事業こして明治廿二年八月共同魚市場の新設を計り各仲買人を獎勵し諸般便宜を與へ來りたるも創立日尚淺かりしため經營頗る困難に遭遇せる事多々あり

水產會社と魚市場

も明治三十六年一月十萬圓に増資し更に四十一年四月六十萬圓に増資したるが其後草梁の慶南水産會社と合同資本金を七十萬圓となせり逐年業務の發展に連れ附屬事業として製氷所を設置するの計畫をなし大正八年六月之が設置せり

同社は南鮮漁港たる統營に支店を設け巨文島及び龍南郡道三面蘆島、敗島村等に出張所を設け漁場の經營を開始し且つ製造事業をなす其他漁獲物の收容、漁具の供給、日用品の供給等諸般の便宜を計りつゝあれば漁船の出入頻繁にして南鮮有數なる漁業根據地として長足の進展をなし居れり當局社員以下の重役は

取締役社長　大池忠助
取締役　阪田文吉
同　香推源太郎
同　迫間房太郎
監査役　矢橋寛一郎
同　竹下佳隆
同　中村俊松
同　豐田福太郎

過去十箇年間の水揚高成績を示せば

年別	賣上金額	入船數
明治四十二年	三三一、三九九圓四三	三六、三六六隻
明治四十三年	三五四、八〇三	四三、一七七
明治四十四年	三三一、〇九一	四六、四五五
明治四十五年／大正元年	四〇九、〇九七	四六、八〇三
大正二年	六〇一、四三九	四一、三〇九
大正三年	四五九、一二六	三五、八六六
大正四年	四九三、四三三	四七、三三三
大正五年	五五〇、三五三	四三、三三八
大正六年	六〇六、八五九	四八、九九一
大正七年	一、〇五六、五三三	四〇、一二〇

右記の如く年一年と盛況を呈しつゝあるは同社重役諸氏並に社員仲買人諸氏の奮闘精勵に因るものと云ふべし

新築せる本社釜山支局

釜山建築界の異彩

沼野峯三郎氏

京城日報釜山支局新築請負の任に當れる沼野峯三郎君は東京市芝區に生れ生粹の江戸奴の質にして頭腦である[illegible]に身を投じ千葉縣請負業に終始を修め一角の請負業者こなる其技倆は市原病院[illegible]の建築に於て他人等しく驚嘆する處こなり其後幾多の建築に於て賞讃せられ就中日本橋區通り淺井合資社の建築は君の自慢建物にして又見る人毎に驚嘆せざるはなしと云ふ君は朝鮮に志し大正二年六月渡鮮し第一着手に釜山商業專修學校寄宿舍を建築し釜山建築界に異彩を放ち引續き坂田精米所同倉庫建築に技倆を發揮し之れが爲め君の評判は市内に廣まり爾來建築に殺到するの盛況を呈す大正七年商業銀行より統營支店社宅の建物を懇請せられ君は同地に出張し精妙なる技倆を表したるを以て南鮮に其名を高め益々努力奮闘斯界に於て其實を以て冠たるは君の純江戸式に基因するものなり而して本社支局建築に就ては衆人の見る晴れの場所たる釜山驛前なるを以て萬腔の力を込めて精神的に技能的に遂に美事なる工事竣成を見るに至れり

信用を以て一貫する

松本旅館　松本小三郎氏

歐亞の關門こ稱し且必ず關門である釜山港は日進月歩驚くべき殷賑を明し連絡船に依る旅客の往復も亦多大の數量を見るに至れり當港に於ける旅館の設備萬般にありても以前に比し大なる改善を圖り應答、待遇、便宜何れの點にありても不愉快を感ぜしむる事なく其發展も亦大いに當の感を起さしむ釜山驛頭を存する西高砂町（一前）の一角に健實を旨こせる松本旅館は明治三十七年九月本町三丁目に於て初經營せるが當時は主人を始め女將自ら女中に顧客を迎へ常に懇切を以て應答するの美風につれ女中小間使に至る迄叮嚀に待遇する結果益々隆盛を重ね途に同町にては客室の狹隘を告げ顧客に滿足を與ふる事を得ざるを遺憾こし現在の西高砂町に新築移轉せしが尚一層の親切叮嚀を旨こし待遇するを以て益々繁盛に今日を致せり當主松本小三郎氏は富山縣東礪波郡南般若村の出身性飽迄快活にして豪邁たる奇才を有し年十八歳にして同縣請負業の覇者たる佐藤組佐藤助九郎氏に從ひ明治十八年よ

松本小三郎氏

り廿六年迄縣下の河川堤防砂防工事の大小を論ぜず成工を遂げ大いに功勳する處あり後廿九年より卅五年迄に渉る裏日本即ち北陸鐵道線工事を佐藤組に請負處となりたるが氏は同組の頭目となり工事の支配を爲す其間有名なる同線難工事も成工を遂げ引續き同年十月より擴港を起點とせる爲服間の鐵道工事も完了し大いに賞せらる年經て日露の戰亂勃發前朝鮮京釜鐵道の速成工事開始せらるゝや前記佐藤組の支配人として三十七年四月渡鮮し京釜各區間殊に釜山間の工事も竣工し其他各官署廳舍消防署工事を請負ひ大いに鮮内に於て名聲を上げたる好個の士なり[illegible]は大正二現今にあり大正二年民團議員、釜山消防組小頭に推選せられ今尚議員の席にあり今や學校組合議員こして公共職に委ね同三十七年十二月より大正七年十二月迄旅館組合長を以て推され組合に對して種々なる改善を圖り克く勉め克く勵むを以て同業者間にありても大いに信用を博し居れり斯くの如くにして一家和氣靄々の裡に顧客に接するも何れかに起因するや論を待たず

水產業者の覺悟

林駒生氏談

地理的に朝鮮半島を大觀するに三方は繞らすに海を以てし大陸に接續して居るのは纔に其一方に過ぎぬ從つて半島沿道及び島嶼に居住する人民の生活要素こいふものは主として水産の利に倚るものと見て可なるべく而も國の文明的色彩が國の沿邊に濃厚なるものとせば朝鮮半島は確かに水産國としての資格を充分に具備せるものであるから水産業は半島の産業上決して閑却すべからざる一重要事であることを論證してある朝鮮は八千海里の沿岸こ三千八百以上の島嶼より成る世界有數の多島國を擁して其産額も既に五千萬圓を突破して尚ほ年々六七十萬の産額増進を見つゝある故に一億圓の産額に達するのは左程遠き將來ではあるまいと思ふ吾人は此の一億を期待して猛進して居るので而も水産家としては必ず此の域に達せしめねばならぬ又必ず達せしむるの確信を有するものである朝鮮が水産の行政機關を設立して法令の力を以て具體的に水産業を奬勵し始めたのは明治四十二年來のことで僅々十年餘りに過ぎぬ而も當時僅に五百萬の産額であつたものが此の十年間に五千萬圓に達せしめたる事を得たのは異數の發達として海漁の隆觀を禁ぜざる次第である日本内地は一萬五千海里の沿岸に於て二百三十萬人の水産業者が一億七千萬圓の産額を上げて居る其の奬勵を加へた年數は明治十六年以來殆ど卅六七年間を費して居るので此の兩者を對照して見るこ年數の少い割合に非常な急速度を以て進捗した（未完）

祝支局新築落成
釜山府瀛州洞
李　青
（前名　李圭正）

祝支局新築落成
釜山榮町
材木商　島末商店
長電話五四〇番

祝支局新築落成
海陸物産委托問屋
釜山南濱町一丁目
三由釜山支店
長電話二九二番

祝支局新築落成
ナショナル精米機代理店
電力モートル發動機各種
設計据付工事受負
電氣瓦斯器具材料販賣
釜山郵便局特設電話材料納入
釜山琴平町
弘中商會
電話長三九三番

祝支局新築落成
米雜穀貿易
諸委託販賣
回漕運送業
釜山府瀛州洞市場
魚允光商店
長電話一〇九四番

祝支局新築落成
釜山府瀛州洞
尹相殷
電話三八五番

祝支局新築落成
海產商
釜山南濱町二丁目
岡崎源次郎商店
電話七九六番

祝支局新築落成
海產物問屋
貿易商
釜山南濱町二丁目
善營支店
本店　下之關
長電話六三八番

祝支局新築落成
萬荷受
材木商
釜山榮町
正木力松商店
電話三九九番

著實を以て一貫する中島商店の發展

店主中島竹次郎氏は大正三年八月十八日釜山埠頭を踏んで全鮮各地を視察し而して釜山本町をトして開店專ら編網機販賣業を營み着々業務進展を慫じつゝありしが同年十一月慶南物産共進會の開會に臨みて中島式編網機に女工を附して作業的出陳に一般の好評を博し殊に本道知事元長官の感謝狀を受け同時に編網機に對して銀牌を受與す大正五年始政五年記念朝鮮物産共進會に作業出陳し閑院宮殿下編網機三臺を御買上げの榮に浴し同年東京に於ける海事水産博覽會の賞狀、本道東萊郡に於ける一府三郡聯合物産品評會に銀牌其他共進會、品評會に受賞する事屢なりき、氏は開店して僅かに五六年に過ぎざるも如上の如く時代の競爭に奮進し遂に世人の嘱賞する處こなりて往文頗繁の域に達せるは氏の進取的氣慨と著實なる方針と相俟つて今日の盛況を呈せる所以と云はざるべからず。同店は亦單に編網機のみを取扱ふにあらず左記營業品目は時勢の要求によりて新式の機械、汽機々關等を取扱ひ産業に工業に海運に多大なる貢獻する處鮮なからず。又氏の開業當時各地の漁場に巡視して實地に付き鮮海の事狀及撈網上の慣習等を見聞し以て編網機改造に一新を促したる功績偉大なるものあり、又農業に向つては同方針にて精米器、製繩機等殖民地の適否を攻究し其適切なるを給供して多大の好評を得たるは氏の鋭敏なる觀察と科學的研究に據るものなり、氏は猶壯年の元氣盛りなれば世人の嘱目する處なり。營業品目　瓦斯發動機、汽機汽罐モートル、原式精米機、大正式編網機、新古諸機械古鐵商

釜山本町一丁目
中島竹次郎商店
電話長（九〇九）番

祝支局新築落成
東亞煙草株式會社
釜山販賣所
電話長二壹〇番

模範的の日用雜貨店　合名會社山西商店は大廳町三丁目目貫の場所に堂々十數間の間口を構へ十數名の店員は日夜顧客の應接に忙殺されつゝある、抑も同商店が釜山に創設されたるは明治三十八年にして經營者たる山西氏兄弟は紀州の産、兄弟相携へて我國商業界の[illegible]たる大阪に出で商業の秘訣を採り日露戰爭當時渡鮮幸町二丁目に店舖を構へたるが當時戰爭中兩氏は最も機敏に用達地の名物紀州蜜柑を販賣し同時に日用雜貨商を營み居たるが商業道徳を主ごし時代の推移に着眼し數年間鋭意せる手腕は後に殖民地に於ける商機に適し日進月歩の隆盛を見るに至り顧客の信用は年と共に益々鞏固となり家屋の狹少を感じ手不足となり遂に現家に[illegible]する能はず大正二年三月目下の商業的好位置に移轉擴張をなすに至れり、而して商業の擴張と共に大資本の必要を感じ兩氏は大正八年之れを合名會社組織となし主として糖粉、罐詰、乾物諸雜貨の直輸入を爲し今日の隆盛を見るに至りしなり、山西氏兄弟共に溫厚篤實にして人に接して良く了解を爲し事々物々圓滿主義を取るも流石に本場仕込みの商略に至つては驚く可き機敏なる手腕を有し顧客をして安意取引を爲さしめ商利多寡を主とせず一度商取引を爲したる顧客は決して中斷する等の不道德を爲さず内にあつては店員の愛撫に深く留意し釜山に於ける成功者たる面目を得たるは當然の事たるべきなり、氏の商業振りは浮海を以て目されたる殖民地商略を排して最も堅實に顧客本位の主義を採る同商店が今日の繁榮を見更に益々旭日昇天の發展を爲しつゝあるは當然の事にして模範商店たるの辭は敢て過賞に非らざるべしと謂ふべし

釜山大廳町三丁目
合名會社　山西商店
電話長七〇四番

影の蜘蛛

「四十四」 江見水蔭 作

挿畫 近藤紫雲

カルメン小糸も時と場合で、活を一變しなければ成らなく成つた。羽田の海濱亭に、客分とも附かず、女中とも附かず、な將お百の下に遣はれてゐる事と成つて見ると、ハイカラではウツリが惡いので、髪は島田に結つて、襟附の衣服み着る様に成つた。

それも亦能く似合ふので、狹い羽田の事だから、直ぐと評判に成つた。從つて海濱亭の客も忽ち殖ねて來たので、短氣のお百大喜び。好い金穂が出來た氣でゐる。

だが小糸としては厭で〳〵成らない。お百の様な強慾思想のと話の合はう様が無いのだ。少しも早く此處を逃出したいと考へてゐても、お百の方では却々油斷をしないので姿を隱そう様も無かつた。

これは安心させて置いて、それから後の細工でもしなければ此處の逃亡は難しいと、以後は御輿を据ゑた態度を示したので漸く朝夕、稲荷の宮への參詣位には、一人歩きをさせる様に成つた、

併し羽田といふ土地が妙な地形で、殆ど離れ小島も同様に成つてゐるだけに、電車にでも乘らなければ、急いで東京方面へは出られない。その電車の乘降も、改札人も、皆海濱亭へ出入りしてゐるのだから、無斷で東京方面へ出る事は、甚だ難しい。

狹い土地だけに全く始末が悪い。心にも無く日を送つてゐたが或日の朝、例の如く稲荷の宮にお參りに出た。素より小糸に信仰氣の有らう筈は無い。散歩を兼ねて脱出の苦心より他には無いのである。

ダムダム彈次に爆音があるなら、二人乘の自動自轉車でも飛ばして來て、それに乘して逃出して與れても好いのに。そんな親切なんか微塵も無い男だ。度見附け出したら、如何するか見てゐろと、そんな險しい心を以てゐるのだから、何んにも成らぬ。

折角、海軍の水上飛行機が、高く空中を飛んで行くのが見え出した。追濱を經して東京へ訪問するので、此頃では少しも珍らしく無いのだが、小糸に取つては時が時である。飛行機にでも乘つて、此處を脱出したい位に考へてゐた處だから、延と氣が著かず、上の空ばかり見詰めて歩いてゐた。

お宮へ近く成つて、バッタリ突き當つた。

吃驚して見ると、一人の乞食老婆と衝突して、それを倒したので有つた。

『あら……』とは云つたが、不潔なので、抱起して遣る氣に成れなかつた。

『痛、痛ッ、あ、痛ッ……』と乞食老婆は、今にも死ぬ様な聲を出した。

祝支局新築落成

御料理 釜山幸町 鳴戸本店 電話長七〇番

御旅館 釜山驛前 鳴戸支店 電話長三六一番 一二三四番

溫泉御旅館 東萊溫泉場 鳴戸支店 電話六番

祝支局新築落成

製紙原料 ウエス諸地金商 空罎空瓶 屑物一式

釜山府幸町二丁目 谷口商店

店電話三八一番 倉庫電話一一四九番 振替京城七一參一番

祝支局新築落成

石炭販賣

特色 斤量……正確 價格……低廉 配達……迅速

南滿洲鐵道株式會社撫煙炭特約販賣所

滿鐵會社撫順炭 內地炭 開平炭 鍛冶用炭

釜山南濱町二丁目 三國商會出張所 電話長一一二九番

祝支局新築落成

米雜穀 精米業 委托賣買

釜山府南濱町二丁目 榊精米所 電話一〇四四番

祝支局新築落成

穀物委托賣買 精米業貿易商

釜山府草中道 吳仁圭商店 電話一〇四五番

祝支局新築落成

釜山府本町三丁目

株式會社共益社釜山支店

電話長四二五番 長四二七番

祝支局新築落成

釜山府牧之島

白石製鹽所 電話二二番

東松製鹽所 電話二四番

讃岐屋製鹽所

祝支局新築落成

米雜穀貿易商

釜山府本町貳丁目

五島合名會社

創立明治四十一年五月

祝支局新築落成

支那山東省 關東州 原鹽直輸入商

日本工業用鹽 朝鮮浦潮沿海州 輸出專業

再製鹽製造

釜山府南濱町壹丁目 許斐釜山支店鹽業部 (電話長四一二番 電話三二番 振替口座京城六一一八番)

支那青島輕藻町拾六番地 許斐青島支店鹽業部 (電話五六二番 電略(コ)又ハ(〇コ))

本店所在地 福岡縣福岡市

再製鹽工場 釜山絕影島 第一工場 釜山絕影島東部 第二工場

壹ケ年製產能力 壹千貳百萬斤

祝支局新築落成

釜山埋築會社

祝支局新築落成

關東廳專賣肥料南鮮總代理店

肥料 穀物 賣買 委托

釜山埋立新町 豊田福太郎商店

電話長一一七番 電略(卜)又ハ(トヨ) 振替口座京城三四三八番

慶南東萊溫泉場

旅館 蓬萊館 電話東萊五番

祝支局新築落成

釜山土城町一丁目卅番地

朝鮮瓦斯電氣株式會社

電話番號 瓦斯 電氣 營業室 庶務 會計 工務 九 一四 〇九 四〇九

倉庫 草梁 絕影島 釜山停留所 東萊 東萊溫泉 四七二 九六六 一六五 二一八 六四 一五

祝支局新築落成

雜貨問屋

釜山本町貳丁目 近江屋支店

電話八〇二番 振替京城一參七

祝支局新築落成

埋立營業所

回漕部 (出張所 朝郵支店內)

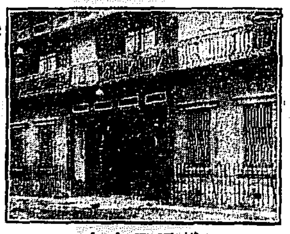
貿易部 (第一精米所 第二精米所)

石炭部

倉庫部

陸送部

釜山 大池本店



辨天町本店

本店

地所部

總務部

旅館部

祝支局新築落成

釜山

ホームリンガー商會

電話四七五番

祝支局新築落成

營業品目

椅子テーブル 室內裝飾織物各種

防水布各種 和洋敷物靴マット

ストーブ リノリーユーム油

リーリユーム 其他和洋家具各種

釜山辨天町二丁目

林洋家具商會

電話一四七番 振替京城二〇九二番